

# 安全と安心のためのシステム —分析は何ができるか

安全・安心への関心が高まる中、それを担保するための分析においても、どのようにして分析結果の質を客観的に向上・担保してゆくかが大きな問題となっています。ここでは地産地消、国内での流通だけでなく、海外への発展を見据え、世界的な流れのなかで、今私たちが何をしなくてはならないのか、また何ができるのかを考えてゆきたいと思います。

\*キーワード：新しい流れ、分析の質、精度管理、ISO/IEC17025

**日時：平成25年8月8日(木)10:00～16:00**

**場所：信州大学農学部(食と緑の科学資料館「ゆりの木」)**

**対象：分析・品質管理関係者、一般(定員：25名)**

- 9:45 受付  
10:00 講義：最新の機器分析-安全のための技術  
(応用生命科学科 廣田 満)  
11:00 講義：分析値の質への要求：今、何が求められているか  
(応用生命科学科 後藤 哲久)  
12:00 昼食(各自)・休憩  
13:00 講義：分析値の質を担保するためには：分析法の妥当性確認と技能試験  
(応用生命科学科 後藤 哲久)  
14:00 講義：試験所の適合性評価(試験所認定)：化学分野を中心に  
(公財)日本適合性認定協会 認定センター 松本 年雄 氏)  
15:30 まとめと質疑応答  
16:00 閉会

**★受講料：5,400円**

**★お申込み方法**…受講希望の方は、所定の申込書に必要事項をご記入いただき、学務係にご持参いただくか、郵便、FAXまたはメールにてお送りください。申込書は信州大学農学部ウェブサイトダウンロードいただくか、農学部学務係までご請求ください。(※受講料は公開講座当日、受付にて徴収します。)

**★申込期限：7月31日(水)※定員になり次第締切**